

	発行者の略号	東書	開隆堂
	書名	New Horizon	Sunshine
ア 教科・種目に共通な観点	① 編集の趣旨と工夫	「豊かな学びが未来を拓く」をテーマに掲げ、主体的・対話的な学びに向かい、積極的に他者や世界とつながる心とコミュニケーション能力を育成することを目指して編修されており、そのための工夫がされている。	「生きたコミュニケーション能力を身につけ、自己肯定感を育む」、「確かな学力を身につける」、「『地球市民』としての豊かな感性を育む」を基本方針として編修されており、工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①Unit・Let's シリーズ(Listen,Read,Talk,Write)・Stage Activity の3つの主要単元で、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら思考力・判断力・表現力などの育成をするよう配慮された構成となっている。 ②英語で意思や情報を伝え合う活動や協働して問題解決に当たる活動を充実させ、対話的な学習を促すとともに、話されたり書かれたりしたことの意味や背景を推測したり、自分の考えを深めてそれを表現につなげたりするようなコミュニケーション活動を充実させたつくりになっている。 ③CAN-DO リストを示し、明確な到達点に向かって学習を進められるよう構成されている。また、「学び方コーナー」では、語彙、音声、表現、文章の4種のテーマから学習に役立つコツを系統的に紹介し、生徒が生涯にわたり学び続けるための工夫がされている。	①基本的には文法シラバスで構成されているが、Scenes では新出文法の導入が、2コマのマンガ形式で示されており、イラストや音声で「目的・場面・状況」への気づきを促すなどの工夫がなされている。またマンガのイラストには、キャラクターの表情や小物、背景などの描き込みやユーモアがあり、新出文法が記憶に残りやすいしかけがある。 ②Think では推量発問や生徒同士で話し合う発問が示されており、より深い読みを促し思考力を鍛えることができる。また、Retell では Think の内容を整理して、絵や写真をもとに相手に伝える表現力を高めることができる。新出表現を使って言語活動を行う Interact では、必然性のある場面やトピック設定のもと「理由も入れて自分の考えを言おう」などのように思考力、判断力を使って論理的に表現するように促すなど、工夫されている。 ③3年間の到達目標が明確で、1年生から段階的に発展する場面・内容で、自分自身が何ができるようになったのかを意識できるような構造になっている。また、スモールステップを踏んだ活動の設定で、生徒が自信を持って学習を進められるように工夫されている。
	(イ) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①言語材料の知識と技能を基盤とし、生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現できることを深い学びととらえ、段階的に学びを深められるように活動を組み立てている。 ②他教科で学んだことを英語の視点で学ぶコーナーが設けられ、CLIL（内容言語統合型学習）へ対応したつくりとなっている。 ③「学び方コーナー」で日本語との違いに触れるなど、国語を意識した学習ができるように工夫されている。 ④各学年とも、日本の文化に触れた題材を取り上げ、自国への理解を深められるよう教材が工夫されている。 ⑤学期末に年3回設けられている StageActivity ではテーマ別の自己表現活動を通して、それまでの Unit 学習で身についた力を確かめられるよう工夫されている。 ⑥3年生では、高等学校の学習へ円滑につながるため、段階的にリーディングの語数を増やし、発達段階に合わせた課題が設定されている。 ⑦教科書紙面の QR コードを読み取ることで、手軽に本文と語句欄の音声を聞くことができる。また Preview にはアニメーションと音声も活用できるようになっている。 ⑧視認性や書きやすさに配慮された書体を採用し、4線については第2線と第3線の間の幅をやや広くすることで小文字を書きやすく配慮されている。また、要素のデザインや配置が統一されており、イラストや写真でスローラーナーへの支援も配慮されている。 ⑨1ページあたり1時間を基本とし、全学年を通して既習事項をスパイラルに学習できる構成になっている。また、各 Unit のパート構成を同じにすることで学習の流れが見通しされやすく工夫されている。	①Q&A や Share では、事実発問だけではなく、本文の内容から推測して答える推量発問やオープンクエスチョンを設けられ、生徒に「多様なものの見方」を働かせ、「深い学び」を促すための工夫が、Retell や Interact では、友達との対話的な学びの中で「こんなふうに表現すればよかったのか」という気づきを促すための工夫がなされている。 ②育成すべき資質・能力について、教科横断的な指導がしやすい題材が多く配置されている ③Try は毎時間の帯活動で行う Small Talk のコーナーとなっており、既習の語彙や表現を使ってペアで活動しながら、既習内容を生かした活動を無理なく行えるように工夫されている。 ④各学年とも我が国の伝統文化に触れ、他国への理解・尊重につながる題材を取り上げており、伝統文化だけでなく、中学生にとっても身近な題材もバランスよく取り交ぜられている。 ⑤4技能5領域を統合的に活用して行うパフォーマンス活動が設定されている Our Project は、既習表現を使って、発表活動や Show & Tell、PR 活動や記者会見、ポスター発表などに取り組む体験活動が充実した構成になっている。 ⑥読解力をつけるために、PROGRAM の Think ではまとまりのある英文を読む練習ができるようになっている。また、Reading や Further Reading では、論理的な説明文や物語などを扱い、読解力を高め中高の接続がスムーズにいくように、工夫されている。 ⑦自学自習の助けとなるように、ページ上部にある QR コードを用いれば、本文やリスニングの音声再生ができるようになっている。 ⑧発音表記については、本文部分では、英語で重要な強弱を示すにとどめ、巻末資料「単語と熟語」に掲載するなど、ゆとりを持たせて見やすい紙面にするための配慮がなされている。 ⑨定着を高める「習得」「思考」「表現」流れになっており、各ページの役割が明確で、何をすればいいかわかりやすく、自学自習に取り組みやすい。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②A4 版で「色覚特性の専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインの検証を行いました」と表記されている。 ③本文の分量が増えた分、A4 版にすることで生徒の理解を助ける視覚資料(イラストや写真、図)を豊富に掲載するとともに、指導や学習の負担に配慮し、本編のページ数は現行の教科書と同等におさえられている。	①分量と配分は、無理なく進められる程度に設定されている ②体裁は AB 版で、「カラーユニバーサルデザイン、特別支援の観点でも十分な配慮をしました」「識別しづらい色遣いは避ける」「造本は丁寧で堅牢です。また、環境に配慮した用紙やインキを使用しています」と表記されている。 ③1年前半では小学校英語科で使用していた手書きに近いフォント、後半は一般的な活字体に近いフォントが使用され、本課に入る前の Get Ready では 4:5:4 の割合の4線が配されている。さし絵、写真は鮮明で数が多く、学習を支援する材料として理解を助け、深めるように工夫されている。また、活字は太めで大きく、行間も十分に取られ、視認性に優れている。	
イ 教科・種目別の観点	① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①各 Unit では、目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら学習できるよう構成され、Let's シリーズではよりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばす作りとなっている。また、説明文や物語、対話文、スピーチなどさまざまなタイプの文章を取り上げ、「概要・大意をつかむ」「詳細をおさえる」「表現につなげる」という 3 段階の文章の読み方を身につけるとともに、自分の考えを深め、表現する力を育成できるように工夫されている。	①PROGRAM の活動は、本文、本文の付帯活動、活動の順に4技能を基礎から総合的に育成できるように配置されている。特に多くの生徒が苦手とする、やり取りなどでの「即興力の育成」に力点を置き、帯活動の Try (Small Talk)、PROGRAM 最後の活動 Interact (目的・場面・状況に応じて話す)、Our Project (メモをもとに発表する、質問に答える、感想を言う) のスモールステップを踏んだ 3 つの活動で育成を図るなど、工夫がなされている。
	② 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②1年 Unit0～Unit5 までを小中接続期と捉え、丁寧につないでいる。小学校の音を中心とする学習を受け止め、「聞く」「話す」活動から授業に入るよう構成されている。中学校における4技能 5 領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できるように構成が工夫されている。	②入門期に Get Ready、Program0 を配置し、小学校英語科の内容について「聞く」「話す」活動から入り、それから文字に関する内容や「音と文字の関係」について扱っており、丁寧かつスムーズに中学校英語の学習に入れるよう配慮されている。また、新出表現導入方法が小学校で慣れ親しんだ「場面シラバスで新出表現を学習する」というプロセスと同じであり、生徒が違和感なく中学校英語に入っていけるように工夫がなされている。
	③ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③題材や人物の出身国は、英語圏だけでなく、できるだけ多様な世界の国々から設定されており、それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深められる題材になっている。特に 3 年ではアジアやアフリカの国々を多く取り上げるとともに、各題材を SDGs との関連を図って取り上げている。	③「グローバルな視野をもった地球市民」を育てるために、日常生活だけでなく、環境、平和、人権、共生など SDGsに関連する現代的課題を扱い、生徒に多様なものの見方や考え方について考えさせるための題材が選定されている。場面は日本から始まって広く世界に目を向けさせるように構成が工夫されており、国際理解を深め、国際協調の精神を養い、最終的には英語で自国の文化や考えを発信できる力を身につけることを目標としている。

	発行者の略号	三省堂	教出
	書名	New Crown	One World
ア 教科・種目に共通な観点	① 編集の趣旨と工夫	英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を、それぞれの学校段階に応じて育成することを教育理念とし、それを実現するための目標として、「ことばを使う力を育てる」「他(人や文化)とかかわる力を育てる」「考える力を育てる」「学びに向かう力を育てる」4つの力を育成することを基本方針として編修されており、工夫されている。	生徒が楽しく英語を学びながら、外国語によるコミュニケーション能力を培い、予測困難な社会の変化のなかで主体的に生きていく力を育てる一助となることを目指して編修されており、工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①GET、GET Plus では、文法事項などの基礎的・基本的な知識と、それらを聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして、活用できる技能を習得できるように工夫されている。 ②USE、Take Action、Project では、多様な題材や言語活動を通して、対話的な学びや深い学びが引き出せるように工夫されている。 ③とびら→GET→USE→Project と、学びのプロセスを「見える化」することで、学ぶ意欲を喚起し、学びに向かう力が育成されるように工夫されている。また、Lesson の最初の「とびら」では写真や Q&A を使って Lesson の題材や場면을導入し、題材に関する生徒の背景知識を活性化するなど、学習への動機づけができるように工夫されている。	①各レッスンの最後に設けられている「Review」「Task」「Grammar」のコーナーに取り組むことで、本文の内容や言語材料を重層的にじっくりと理解できるように工夫されている。 ②「Project」では、5領域を総合的に活用して課題解決に取り組む活動や、生徒自身の主体的な思考・判断を加えた表現活動の工夫がなされている。また、「Useful Expressions」では、日常的な場面を設定し、目的・場面・状況に応じた表現を学べるようになっている。 ③「Tips」や「How to Study」のコーナーでは、各技能の本質に関わるアドバイスや、復習のしかたや日常生活の中で取り組める工夫を紹介し、生徒の「学ぶ力」を引き出すための工夫がされている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①題材は、「ことばを使うことは、思いを伝えること」「かかわることは、互いを認め合うこと」「考えることは、自分と向き合うこと」「学ぶことは、自分の可能性を広げること」の4つの柱に基づいて選定され、生徒の知的好奇心や興味・関心にこたえるものになっており、対話的な学びや深い学びを引き出す充実した言語活動につながるよう、工夫されている。 ②他教科で習得した知識や技能を、外国語科での学びと結びつけることで、理解を深めたり、広い視野で思考・判断したり、表現をより豊かなものにしていくよう、題材が工夫されている。 ③小学校で聞いたり、話したりした語彙のうち、すべての中学生に発信語彙として身につけてほしい再掲語の281語は、すべて教科書本文中で扱い、脚注に太字で提示している。 ④題材として、日本の伝統文化、生活様式などがそれぞれの学年に配置されている。 ⑤Project では、ディスカッションやスピーチなど、4技能5領域を統合する活動を設定し、思考力・判断力・表現力を育てられるように内容が工夫されている。 ⑥本文や言語活動などの分量も豊富で、確かな英語力が身につけられるように編修されている。また、For Self-Study など、自律的な学習をサポートする資料が示されており、高等学校での英語学習に耐えうる学習スキルを身につけることができるように工夫されている。 ⑦3年間で170か所のQRコードが配置されており、本文の音声だけでなく、リスニングの音声、話すことのモデルとなる動画、発音のアニメーションなど、デジタルコンテンツが充実している ⑧各ページの役割や、5領域が明確になるように紙面デザインに工夫があり、見やすくわかりやすい。言語活動において、スモールステップでの活動の内容を示すモデルが示されており、必要に応じて書き込みのスペースが確保されているなど、配慮がなされている。 ⑨基本的に見開き構成で、学習する内容が一目でわかるようになっている。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、学習に集中できるように配慮されている。	①巻末の「Activities Plus」を用いて、ペアでの活発な対話活動を積み重ね、お互いの表現から学び合うことで既習の表現を活性化させ、自由に活用できるように工夫されている。 ②他教科のように工夫されている。 ③「Grammar」では、レッスン内の主な言語材料をまとめて確認し、言語活動が実際に使われる文脈がわかるモデル文を参考に理解を深め、友達と会話する活動につなげられるように工夫されている。 ④世界への視野を広げ、日本の文化・伝統を見つめ直すことができるように、世界の様々な国と日本、その両方を比較することができる題材を配置し、類似点や相違点に気づかせるなど工夫されている。 ⑤「Project」では、「標識をつくる」「アンケートの結果を発表する」「将来の夢を発表する」「CMをつくる」「卒業スピーチをする」「ディベート」など、生徒の興味・関心、発達段階にあわせて、さまざまな課題解決学習や表現活動が配置されている。 ⑥小学校からスムーズにつながった目標によって、長期的な見通しの中で目標達成度を確かめることができ、達成感を持って高校につながる工夫がされている。 ⑦教科書に掲載されたQRコードやURLからアクセスする「まなびリンク」で学習に役立つ情報を集められるように工夫されている。 ⑧全体をおおしての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスになっており、特別支援が必要な学習者への配慮がされている。 ⑨本課などの基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それらを総合的に活用して生徒が自ら考え表現する「Project」などの活動を通して、コミュニケーション能力の基礎を養うことができるような構成の工夫がされている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①情報量は多く示されているが、記述されている内容を一律に取り扱うのではなく、各学校の目標や生徒の実態に合わせて、メリハリをつけて進められるように工夫されており、分量と配分は適切である、といえる。 ②体裁は AB 版で、「カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました」「アレルギーや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しました」と表記されている。 ③アルファベットを書くためのモデルとなるフォント、UD フォント、独自開発したゴシック系フォントなど、読みやすく、書きやすいフォントが使用されている。また、見やすく正確な図版や、本文の内容に資する写真が、多く配置されており、生徒の理解を促進するものになっている。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、すべての生徒によって学びやすい紙面づくりに配慮している。 ③英文は生徒が読みやすいように折り返しの長さを工夫しており、各学年の巻末カードにはすべてミシン加工が入っていて、手で簡単に切り取って使うことができるようになっている。	
イ 教科・種目別の観点	① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①USE では目的や場面、状況に応じて、「まとまりのある英文の概要や要点を読み取る力」「文章の構成を考え、まとまりのある英文を書く力」「音声やデリバリーを工夫し、発表する力」を養うための言語活動の工夫がなされている。また、Take Action では、リスニングタスクやスキットを通して、目的や場面、状況に応じて聞く力や、即興で伝えあう力を養うための工夫がなされている。	①各レッスンの「Grammar」や Useful Expressions の中で「言語の働き」と「言語の使用場面」が明確に示されており、また多様な働きと場面が扱われている。活動を通して、実際のコミュニケーションにおける言語材料の意味や適切な使用場面が体験的に理解でき、生徒の思考・判断・表現に資するよう配慮されている。また、「即興で話す力」を育成するための活動「Activities Plus」が工夫されており、対話活動を通して、既存の言語材料を何度も活性化させながら、「生きて使える英語力」が身につけられるようになっている。
	② 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②1年 Lesson1～3では、聞くこと・話すことの活動から導入し、ターゲットの文法事項や文構造を含む文を取り出し、英文の類似点や相違点について問いかけをすることで、文法のルールや文構造について気づきを促し、明示的な整理や理解、練習へとつなげるなど、小学校での学びを生かし、中学校での学びにスムーズに接続するための工夫がなされている。	②小学校外国語科での学習事項を踏まえ、中学の学習への基礎をつくる活動が、1年の巻頭に Springboard 1～4 として設けられており、小学校から中学校への橋渡しがスムーズにできるように工夫されている。続く1年生の Lesson 1～3 は、小学校で行われてきた音声中心の活動(自己紹介、好きな物など)についての会話、人物紹介など)を見開き単位の紙面で行いながら、言語についての知識・理解や、読むこと・書くことの技能に円滑につながる単元構成とされている。
	③ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③深い学びにつながる題材選定の4つの柱をもとに、自然科学、環境、日本や他の国・地域の文化、生徒の感性に訴える物語など、生徒の興味・関心、発達段階に合わせて、題材が選定されている。また、個性的で国際色豊かなキャラクターが登場し、本文だけでなく、小さな活動などにも同じ世界観を取り入れることで、登場人物たちを友だちのように感じながら、身近なことや日常的な話題、社会的なテーマなどを通して英語を学んでいけるように工夫されている。	③「持続可能な世界へ向けて、次代を担う中学生に、世界の多様なあり方と課題を見つめ、『自分のこと』として向きあってみよう」という理念をもとに題材が選定されており、異文化および我が国の文化理解、地理・歴史、生命・環境、情報・福祉・健康、平和などの話題が豊富に取り上げられている。

	発行者の略号	光村	啓林館
	書名	Here We Go	Blue Sky
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	「グローバル社会に必要な英語の力・心・意欲を育てる」を基本方針とし、特に、「学びに向かう『意欲』が育つ」ことを目指して、各学年のそれぞれテーマを設けた工夫をしている。	「生徒が主体的に関わりながら学びを進める」「コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける」「知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育成する」の3点を基本方針とし、今後、期待される社会の姿(Society 5.0)の実現に向けて、生徒が持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培えるように工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①日常生活に直結した場面の英語を使い、世界の生の情報に触れ、読み方や英語のルールを確認できる小教材で、生きて働く「知識・技能」を習得することができる。 ②各学年3回ずつ、タスクを取り入れた言語活動が取り入れられており、目的や場面、状況に応じて伝える内容を考えて、表現する活動が工夫されている。 ③1年「やってみよう。」、2年「見つけよう。」、3年「続けていこう。」という、各学年にそれぞれテーマを設けて、学びに向かう意欲を涵養するための工夫がされている。各教材の役割や目標がわかる構成とCAN-DOリストの掲載で学びに向かう意欲が育つように工夫されている。	①各UnitはGet Ready、Practice、Useで構成され、言語材料への慣れ親しみ、知識・技能の習熟、活用・定着という細かい学習過程を踏んで基礎的な知識・技能が身に付くように工夫されている。 ②身近な場面の中での既習の表現を活用して必要な情報を伝え合うなどの実践的なコミュニケーションを通して表現力を養えるように、また、物語や論説文などの読み物を読み、内容や構成・表現について生徒が自分で思考し、判断できるように工夫されている。 ③UnitとPartの最初には学習到達目標(Unitの目標、Partごとの目標)を明示し、生徒自身が何をできるようになるかを意識しながら、自律的に学習を進められるように工夫されている。また、生徒の学習意欲を高め、より深い学びへと導けるよう題材が工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。	①小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の「自ら考え、表現する力」など五つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①即興的なやりとりやメモを用いた発表に結びつくような活動が継続的に行われるように工夫されている。 ②職業体験や環境問題、世界の地理や文化、美術館ガイドや鳥獣戯画をテーマにした単元などで社会科や美術科などの教科だけでなく、学校の教育活動との横断的な学習になるような工夫がされている。 ③「即興で伝え合う力」を養うための帯活動教材が巻末についていたり、各単元の内容をリテリングさせたりして既習の表現や語彙をスパイラル式に学習し、定着がはかれるように工夫されている。 ④2年生の目標が「自分の町や日本の文化などについて、内容を整理して伝え合うことができる。」と設定されおり、伝統文化や国と郷土を愛する態度を養う配慮がされている。 ⑤レストランの注文や電話での会話、空港でのアナウンスやラジオ番組の中継などリアルな場面設定で、世界を広げ、多様な見方・考え方を育てる工夫がされている。 ⑥3年生では、Your Coach で長期的な目標をもちながら、中学卒業後も継続して英語各週に取り組むことを促している。また、英単語の成り立ちとして、接頭辞や接尾辞についてイラストと共に示されており、語数が大幅に増える高校からの学習にも役立つような配慮がなされている。 ⑦教科書随所にQRコードがあり、本文の内容をスライドアニメや、会話のイメージをつかめるような実写映像を視聴できる。教科書のリスニングの音声もきけるようになっており、授業だけでなく、楽しみながら家庭で主体的に学習が進められるように工夫されている。また、学習内容についてさらに深めるために参考のウェブサイトへアクセスすることができるQRコードも掲載されている。 ⑧イラストや写真の使用で、親しみやすい工夫がなされている。また、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインとなっている。 ⑨「何ができるようになるか」、「何を学ぶか」、「どう学ぶか」を意識し、主体的・対話的で深い学びのためのサイクルがある。3年間で4人の中心となる主人公による一貫した物語で構成されている。各学年での物語の題材は身近な題材から平和、AI、環境問題など様々で発達段階が考慮された設定となっている。	①随所にペアワークやグループワークなどが設けられ、意見や考えを伝え合い、理解し合うことで、より深い学習ができるように工夫されている。また、Further Study など、あるテーマについて意見を交換するなど、自分の体験を書くことを通して、「主体的・対話的で深い学び」につながるよう、工夫されている。 ②他教科で学んだ題材や生活用品など生徒に馴染みのある題材を取り上げ、生徒が親しみを持って、基礎的・基本的な語彙や表現を身に付けられるように工夫されている。 ③複数のUnitの学習を振り返ることができるように、Target(文法事項)のまとめのページが設定されている。 ④地域、食文化、生活様式、ゆるキャラなど、題材の中で日本のことも多く取りあげることで、自国の伝統・文化について再発見できるつくりになっており、日本の伝統文化を発信する力も身につけられるように配慮されている。 ⑤Projectでは、4技能5領域を統合する活動を設定し、場面や状況を考え自ら判断し、コミュニケーション活動を図れるように内容が工夫されている。 ⑥巻末に、1～3年の基本文のまとめ、会話表現のまとめ、英語のつづりと発音、不規則動詞変化表、形容詞・副詞比較変化表、符号の使い方、数の読み方など、自律的な学習をサポートする資料が示されており、高等学校での英語学習に耐える学習スキルを身につけることができるように工夫されている。 ⑦ICTの活用が有効な箇所にはQRコードを掲載され、学習の助けになる教材(音声など)を活用しながら臨場感を持って学習が進められるように工夫されている。 ⑧誰もが読みやすいように文節で改行をしたり、学習のめあてを明記したりするなど、インクルーシブ教育に配慮されている。 ⑨生徒が見通しを持って学習が進められるように、Unitの最初にUnitの目標、各PartにPartの目標が明示されている。1～3年生を通した目標をもって学習したり、振り返って自己評価したりできるように、巻末にCan-Doリストが掲載されている。More Informationでは、Unitで学んだ内容の補足情報を読むことで、理解を深められるようにしている。
(I) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①分量と配分は無理のない程度に設定されている。 ②判型は紙面を視覚的に見せることができる横幅の広いAB判であり、カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点で配慮がされている。 ③入門期においては、生徒が学習しやすいアルファベットのフォントを独自に開発している。「日本語の文のうち、吹き出し内などの小さな文字には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザイン書体を採用している。」と表記されている。活動の中心となる、4技能それぞれが違う色、記号で示されている。	①分量と配分は、余裕を持って進められる程度に設定されている。 ②体裁はAB版で、「針金を使わず堅牢な「あじろ綴じ」製本を採用し、ページを大きく開けるよう配慮しました」「書き込みやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用しました」「アレルギーや環境に配慮し、植物油インキ・再生紙を使用しました」と表記されている。また、色覚特性や障がいのある生徒などにもわかりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮がなされている。 ③行間にゆとりがあり、文章が読みやすくなるように配慮されている。また、イラストや写真が効果的に掲載され、生徒の理解の手助けになるように工夫されている。	
イ 教科・種目別の観点	① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の動き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	①Unitの各パートは左ページの本文で「聞く」、「読む」活動、右ページの言語活動で「聞く」、「話す」、「書く」活動を位置づけており、スタイルが一貫しているため、各パートでバランスのとれた力を養うことができる。それぞれの領域に特化した小教材や帯教材では実社会生活に即した素材を取り上げ、興味深い題材を扱っている。	①4技能5領域の内容を各Unit内で適切に取り上げ、問題の横に、該当する4技能5領域をマークで表示して、身に付ける知識・技能が明確になるよう、配慮がなされている。また、目的や場所、状況などに応じて、様々な話題に関する情報などを推測しながら理解したり、表現したり、伝え合ったりできる力を養えるように工夫されている。
	② 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	②小学校での既習事項(語彙・文法)が分かるように巻末付録の一覧ではマークが付いている、小学校との接続期の英文には、書き文字との差異が少ない書体で使用されている、1年の巻頭には小学校の復習や帯活動で発音と綴りのルールを学ぶ教材が用意されている、等の工夫がされている。特に小学校の音声を中心にした学びからの接続に配慮し、ビジュアルを効果的に使ったページで楽しく語彙や内容の導入をしなが、スムーズに文字による本文の学習や言語活動に慣れていくよう構成されている。	②1年の巻頭には小学校の復習Let's Startを設定し、小学校からの学習がスムーズにつながるよう配慮されている。また、小学校の『Let's Try!』『We Can!』で学習した語彙・表現をもとにスパイラルな学習ができるよう題材が選定され、工夫されている。
	③ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③世界の中学生の生の声に触れられる教材を用意して、多様な文化や価値観に触れられるようにしている。英語を使ってコミュニケーションをすることの楽しさや意味を実感し、外国語学習の為の見方・考え方を養いながら、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。	③グローバル化する社会の中で英語話者の広がりや多様性を実感できるように、教科書には多くの人種・民族の人々、世界の地域が登場するように配慮されている。また、題材を通して、職業・伝統文化・自然・社会などへの見識を深められるだけでなく、異文化理解、反戦・平和などの題材を通して、他者を尊重する気持ちや人間性をはぐめるように工夫がなされている。